

# 常任委員会

## 閉会中の事務調査

### 総務文教常任委員会

平成22年1月21日に総務文教常任委員会を開催し、所管事務調査を行いました。

#### 一 市内小中学校の現地調査について

笹岡小学校は、築28年で施設設備の老朽化が激しいことから、来年度に耐震補強・大規模改造工事を実施したいと考え、体育館、1棟から3棟の校舎を対象とし、金額を8億円以内に収めたいと説明がありました。

しかし、小学校の統廃合を考えた時に笹岡地区では核になる小学校なので、財政は厳しいが8億円を切るというのがいいのではなく、必要なものは財政局に話をすべきと思われました。

昨年4月に保田小学校、寺社小学校、大和小学校が統合した新生保田小学校では、登校しぶりの児童のために、担任やコーディネーター、他の教員も一緒になって知恵を出し合い、登校しぶりの要因を見つけて対処していました。

今後第2次統廃合計画を進めるにあたり、登校しぶりや不登校児童を出さないよう現場の教職員からは更なるきめ細やかな配慮と適切な指導によって大きく影響されるので、がんばってもらいたいと思います。

#### 二 吉田東伍記念博物館の運営状況について

吉田東伍は、日本歴史地理学のパイオニアと呼ばれ、「大日本地名辞書」を独力で書き上げた阿賀野市の偉人です。生家の隣に平成10年に吉田東

### 社会厚生常任委員会

平成22年2月4日に社会厚生常任委員会を開催し、所管事務調査を行いました。

#### 一 軽度発達障がい児の現状と対応・対策について

軽度発達障がいとは発達障がい・行動障がいのうち、知的障害の伴わないもの（IQ70以上）を総称していますが、健常との線引きが難しく、障がいの個性なのか判断しにくい面があります。現実的には、家庭や学校で様々な不応を起す事が多く、主たる要因として、脳の機能障がいにあると想定されるため、特別な配慮と対応を要するとされています。

認知・言語・運動・社会性等の発達に難点が見られ、人との関わりに不応を起す事が多く見られ、これらを理解する事が支援への第一歩であり、市では就学前の早期から一貫した支援実現を目的に、平成20年市発達障害早期総合支援推進協議会を設置すると共に、より専門的、個別的対応のため専門部会設置を準備中との事でした。

また、地域療育の場として支援活動をしている「こぼとこ」の相談室では、義務教育段階までは良好に機能しているが、以降は理解不足等から問題が発生しており、改善解決には、生涯一貫した相談・支援体制の整備が急務との提言がありました。

二 市立保育園民営化後の状況と今後の民営化計画について  
平成21年4月民営化された風の子・分田の2保育園で、本年1月実施されたアンケート結果が報告され、前回（昨年7月）に比べ全般的に評価が向上しており、運営者側の努力もあり、保護者や園児

との融和が図られたものと思われる。

今後残る3保育園についても順次民営化へ移行方針との事であり、委員からは移行法人は市内外を問わず優良保育可能法人を求めるとはどうか、民営化にあたっては保護者の意見を尊重すると共に保護者、園児の不安解消に最大限配慮する事等の意見が出されました。

一 健康あがの21計画」の進捗状況について  
平成22年度に策定した阿賀野市観光振興基本計画に基づき、豊富な観光資源を活用し交流人口の拡大と誘客を進め、賑わいと阿賀野市に誇りと愛着を持ってもらうことを基本コンセプトに取り組んでいる次の事業についての説明を受

一 観光振興施策の取組み状況について  
平成20年度に策定した阿賀野市観光振興基本計画に基づき、豊富な観光資源を活用し交流人口の拡大と誘客を進め、賑わいと阿賀野市に誇りと愛着を持ってもらうことを基本コンセプトに取り組んでいる次の事業についての説明を受

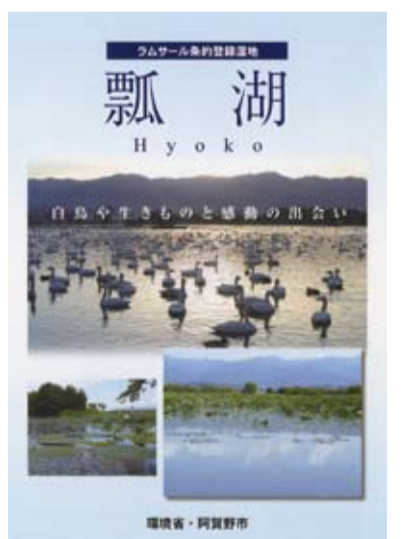
二 生産調整の実施状況について  
平成21年度生産調整の実績について報告がありました。  
主食用水稲の作付面積は4906haで、県から示された面積より865haオーバーとなり、達成率は60・56%の状況でした。地区別の達成率は、安田地区92・29%、京ヶ瀬地区33・22%、水原地区54・78%、笹岡地区83・17%という結果となりました。

二 生産調整の実施状況について  
平成21年度生産調整の実績について報告がありました。  
主食用水稲の作付面積は4906haで、県から示された面積より865haオーバーとなり、達成率は60・56%の状況でした。地区別の達成率は、安田地区92・29%、京ヶ瀬地区33・22%、水原地区54・78%、笹岡地区83・17%という結果となりました。

二 生産調整の実施状況について  
平成21年度生産調整の実績について報告がありました。  
主食用水稲の作付面積は4906haで、県から示された面積より865haオーバーとなり、達成率は60・56%の状況でした。地区別の達成率は、安田地区92・29%、京ヶ瀬地区33・22%、水原地区54・78%、笹岡地区83・17%という結果となりました。

二 生産調整の実施状況について  
平成21年度生産調整の実績について報告がありました。  
主食用水稲の作付面積は4906haで、県から示された面積より865haオーバーとなり、達成率は60・56%の状況でした。地区別の達成率は、安田地区92・29%、京ヶ瀬地区33・22%、水原地区54・78%、笹岡地区83・17%という結果となりました。

二 生産調整の実施状況について  
平成21年度生産調整の実績について報告がありました。  
主食用水稲の作付面積は4906haで、県から示された面積より865haオーバーとなり、達成率は60・56%の状況でした。地区別の達成率は、安田地区92・29%、京ヶ瀬地区33・22%、水原地区54・78%、笹岡地区83・17%という結果となりました。



一 健康あがの21計画」の進捗状況について  
平成22年度に策定した阿賀野市観光振興基本計画に基づき、豊富な観光資源を活用し交流人口の拡大と誘客を進め、賑わいと阿賀野市に誇りと愛着を持ってもらうことを基本コンセプトに取り組んでいる次の事業についての説明を受

一 健康あがの21計画」の進捗状況について  
平成22年度に策定した阿賀野市観光振興基本計画に基づき、豊富な観光資源を活用し交流人口の拡大と誘客を進め、賑わいと阿賀野市に誇りと愛着を持ってもらうことを基本コンセプトに取り組んでいる次の事業についての説明を受

一 健康あがの21計画」の進捗状況について  
平成22年度に策定した阿賀野市観光振興基本計画に基づき、豊富な観光資源を活用し交流人口の拡大と誘客を進め、賑わいと阿賀野市に誇りと愛着を持ってもらうことを基本コンセプトに取り組んでいる次の事業についての説明を受

一 健康あがの21計画」の進捗状況について  
平成22年度に策定した阿賀野市観光振興基本計画に基づき、豊富な観光資源を活用し交流人口の拡大と誘客を進め、賑わいと阿賀野市に誇りと愛着を持ってもらうことを基本コンセプトに取り組んでいる次の事業についての説明を受

一 健康あがの21計画」の進捗状況について  
平成22年度に策定した阿賀野市観光振興基本計画に基づき、豊富な観光資源を活用し交流人口の拡大と誘客を進め、賑わいと阿賀野市に誇りと愛着を持ってもらうことを基本コンセプトに取り組んでいる次の事業についての説明を受

一 健康あがの21計画」の進捗状況について  
平成22年度に策定した阿賀野市観光振興基本計画に基づき、豊富な観光資源を活用し交流人口の拡大と誘客を進め、賑わいと阿賀野市に誇りと愛着を持ってもらうことを基本コンセプトに取り組んでいる次の事業についての説明を受

一 健康あがの21計画」の進捗状況について  
平成22年度に策定した阿賀野市観光振興基本計画に基づき、豊富な観光資源を活用し交流人口の拡大と誘客を進め、賑わいと阿賀野市に誇りと愛着を持ってもらうことを基本コンセプトに取り組んでいる次の事業についての説明を受

一 健康あがの21計画」の進捗状況について  
平成22年度に策定した阿賀野市観光振興基本計画に基づき、豊富な観光資源を活用し交流人口の拡大と誘客を進め、賑わいと阿賀野市に誇りと愛着を持ってもらうことを基本コンセプトに取り組んでいる次の事業についての説明を受

の向上を目的とした新対策と、米個別所得補償モデル事業が実施されます。関係機関一体となったきめ細やかな情報提供を要請し、今後の動向を注視することといたします。

#### 閉会中の継続調査事項

（6月定例会まで）  
（1）流域下水道新井郷川浄化センターについて  
（2）福島湯放水路の整備状況について



今議会では本会議の他に予算審査特別委員会、郷病院公設民営化調査特別委員会が開催されました。予算委員会では、不況対策を求め意見、国、県の施策を越えた阿賀野市の特色が予算に無いなどの厳しい意見も出ました。郷病院特別委員会では公設民営化の是非について、市の将来を見据えた悔いのない選択となるよう、あらゆる角度から調査、検討を行っています。

市議会だより発行から一年が経過しました。今後も読みやすい編集となるよう努力をいたします。（編集委員 岡部 直史）

### 阿賀野市議会だより 編集特別委員

- 委員長 山崎 正春
- 副委員長 池田 強
- 福住 つゆ子
- 岡部 直史
- 石川 恒夫
- 清水 友行
- 風間 輝栄



老朽化により3階教室では暖房の熱量がほとんどない（笹岡小学校）